

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



▲『ねったいぼ』とは…ふかしたいもにもち米，そば粉，砂糖，塩を加え，火を焚きながらきねでつき，適当な大きさにちぎり，きな粉をまぶしたものです。

『とうふやぼたもちづくりに挑戦』 大丸小学生と高齢者がふれあい体験学習を実施

11月30日（水），大丸校区高齢者部（部長：久保敬二さん）の15人のみなさんと大丸小学校の4年生13人が，総合的な学習の時間を利用して，とうふ，ぼたもち，ねったいぼといった昔ながらの郷土料理づくりに挑戦しました。

ぼたもちづくりに参加した下野杏華さんは「最初はだんごを丸めるのが難しかったけど，慣れてくると楽しいでした。今度はおばあちゃんからも教えてもらいたいです。」と話していました。また，大丸校区高齢者部の方々は「このような体験を通じて，昔ながらの食べ物を伝承していきたい。」と話されていました。

『収穫を祝ってもちつき大会』

12月14日（水），立小野小学校の児童が栽培したもち米の収穫を祝って，もちつき大会が行われました。

この日は，保護者や地域住民のほか，体験留学で訪れていた，大崎小学校1・2年生2人，菱田小学校の4年生4人も一緒になって，もちつきやそば打ちを体験しました。つきたてのモチは，その場で振る舞われ，子ども達は口いっぱいにはおぼっていました。

米澤敏昭校長は「地域の方々とのふれあい活動を通じて，豊かな心を育ててほしい。」と話されました。



『しめ縄づくりに挑戦！』

12月20日（火），大丸小学校の5年生11人が，お正月の縁起物である『しめ縄づくり』に挑戦しました。

このしめ縄づくりは，大丸校区高齢者部の久保敬二さん（穂園集落）らが，子ども達とのふれあいを大事にしていきたいということで，毎年ボランティアで行っているもので，最初に，しめ縄づくりの手本を見せたあと，実際に子ども達も挑戦。なかなか思うように縄がなえなかった子ども達も，熟練者にアドバイスを受けるうちに次第にコツを覚え，できあがったしめ縄にうれしそうな表情を浮かべていました。



『朝起きると，一面の銀世界に』

強い寒気の影響を受けた鹿児島市では，12月22日（木）午前8時までの積雪が11センチメートルとなり，1917年の9センチメートルを更新して12月としては観測史上最高を記録したと報じられました。

大崎町においても，10センチメートル前後の積雪があり，南国鹿児島とは思えない光景となりました。終業式が行われたこの日は，朝から子ども達が雪合戦などをして，はしゃいでいる姿が見受けられました。

